

中庭に蒲公英の咲く裁判所

蒲公英も紫雲英も読めぬ子が遊ぶ

蒲公英を少しちやほやしてやりぬ

蒲公英や老いたる姉に弟に

たんぽぽの絮飛ぶうつらうつらかな

たんぽぽの絮飛んで芯残りけり

蒲公英の絮に全てを託しけり

あちこちに蒲公英の咲き始めたる

蒲公英や太陽に幸多かれと

たんぽぽの絮の飛びゆく港町

蒲公英や日は平凡に午後の空

たんぽぽを摘みたる跡に坐りけり

蒲公英や波打際の波殺し

たんぽぽや冬を越したる空店舗

蒲公英に地べたの冷ゆる夜なりけり

蒲公英や母校へ迫る道すがら

たんぽぽは地に菜の花は空にかな

たんぽぽの小さな駅でありにけり

たんぽぽや線路の砂利の錆びついて

蒲公英や鱈が干されてその日陰

蒲公英に土龍の土の真つ黒な

蒲公英や樗並木のその根元

たんぽぽに地味な雀の来りけり

たんぽぽや切株はまだ新しき

2023.2.17 【全然堂歳時記 春

【蒲公英】 選31句

2 淡子 / ねんとう / 子 / て。

12行3段組14ポ 2023年2月17日 21.29へ1 桐10

蒲公英に通勤時間帯が過ぎ

モノリスを埋めて蒲公英咲かせある

蒲公英を少しちやほやしてやりぬ

たんぽぽのうつらうつらと絮とぼす

中庭に蒲公英の咲く裁判所

蒲公英の絮に全てを託しけり

蒲公英や太陽に幸多かれと

蒲公英や日は平凡に午後の空

蒲公英や波打際の波殺し

蒲公英に地べたの冷ゆる夜なりけり

たんぽぽは地に菜の花は空にかな

たんぽぽや線路の砂利の錆びついて

2/23 多の花は (おまけ) 2.18 15:00pm  
への受けつた子けり 2:00pm  
2:00pm

蒲公英に土龍の土の真つ黒な

一面に蒲公英の黄のぽぽぽぽ

蒲公英も紫雲英も読めぬ子が遊ぶ

蒲公英や老いたる姉に弟に

たんぽぽの絮飛んで芯残りけり

蒲公英のまばらなれどもしつかりと

あちこちに蒲公英の咲き始めたる

たんぽぽを摘みたる跡に坐りけり

たんぽぽや冬を越したる空店舗

毎年よ蒲公英の黄の踏まれ道

蒲公英や母校へ迫る道すがら

蒲公英や通勤電車数珠つなぎ

踏まれ道 2:15 pm  
17 am

たんぽぽの小さな駅でありにけり

たんぽぽの絮の飛びゆく港町

蒲公英や鱈が干されてその日陰

たんぽぽに地味な雀の来りけり

たんぽぽや切株はまだ新しき

蒲公英や樺の芽吹くその根元

蒲公英は向日葵の黄を知らねども

の如きスカートの中に花びら 0:33 am  
の如きスカートの中に花びら 20 am  
の如きスカートの中に花びら 20 am  
の如きスカートの中に花びら 20 am

3

蒲公英に通勤時間帯が過ぎ

モノリスを埋めて蒲公英咲かせある

の上にラジエーターを置かす 2.19 Yam

たんぽぽもお地藏さまも背の低き

蒲公英に弱気の花はなかりけり

蒲公英を少しちやほやしてやりぬ

たんぽぽのうつらうつらと絮を欠く

中庭に蒲公英の咲く裁判所

蒲公英の絮に全てを託しけり

蒲公英や鯨が干されてその日陰

蒲公英や太陽に幸多かれと

蒲公英や波の音して防波堤

ふんきもめに 2.19 10:47 am

蒲公英に地べたの冷ゆる夜なりけり

たんぽぽや線路の砂利の錆びついて

蒲公英に土龍の土の真つ黒な

一面に蒲公英の黄のぽぽぽぽ

蒲公英も紫雲英も読めぬ子が遊ぶ

蒲公英や老いたる姉に妹に

蒲公英の絮スカート風の風に飛ぶ

蒲公英の若き球体風誘ふ

蒲公英やまばらなれどもしつかりと

蒲公英や冬を越したる空店舗

蒲公英の踏まれ易きも通学路

毎年よ落葉の道に蒲公英黄

蒲公英や母校へ続く通学路

蒲公英や通勤電車数珠つなぎ

蒲公英を咲かせてみたき滑走路

たんぽぽの駅がみるみる遠ざかる

たんぽぽの絮の飛びゆく港町

たんぽぽに地味な雀の来りけり

たんぽぽや切株はまだ新しき

蒲公英や樗の芽吹くその根元

蒲公英は向日葵の黄を知らねども

たんぽぽのあけつびろげに咲きほこる